



第11号

# 高知県立高知国際高等学校だより

高知県立高知国際高等学校 KOCHI KOKUSAI Senior High School

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

## 高知国際高校創造中

教頭 公文 秀次郎

高知国際高校が開校して3か月ほどが経ちました。「高知国際高校」という校名もなじんできたように思います。校内では、「舞台は、地球。」Think Globally, Act Locallyのもと、自ら考えて積極的に行動する生徒や教職員の姿が見られています。授業では互いの意見を尊重しながら議論を進め活発に発表する姿、生徒自身による修学旅行検討委員会で企画提案していく姿、1年生だけですが高知国際高校生徒会も発足し、高知西高校生徒会と連携しながら元気に活動を始めています。今年度、本校は1年生のみ、そして高知西高校や高知南高校の2, 3年生とも連携しつつという特別な状況にあります。そのような中、「他者の見解に耳を傾ける」や「批判的思考力」などのATL(Approaches to Learning)スキルも身に付けながら貴重な経験を積み、どんどんと本校の形を作り上げてくれるものと期待しています。

教職員も、本校の学びの形、「学び方を学び、自ら深く学ぶ」を実現するために日々教科ごとのミーティングを行っています。主体的な学習へと動機づける授業の在り方、自ら学力の向上へと向かわせるような評価の方法、ICTの効果的な利用方法など、新学習指導要領を先取りした新しい学びの形を目指して取り組みを進めています。英語運用能力を高めるため、朝のショートホームや放送などを英語で行う試みも行っていきます。本校の教職員全体に多くのエネルギーが感じられ、3年後の本校1期生の卒業の時にはその真価が問われることをしっかりと意識した取組を行っています。

県内の市町村立中学校などが5月～7月にかけて行っている高校説明会では、本校の新しい学びの形について説明をしています。現在まで、49の中学校で説明をさせていただきました。

昨年度は、まだ本校のことがあまり知られていない印象でしたが、今年は、中学生にとって、すでに県内の県立高校の選択肢の一つになっているように感じました。

本校での新しい取組や活動の紹介をよく聞いていただきました。本校をいっしょに創造したいと思ってくれる生徒の皆さんは、ぜひ来ていただきたいと思います。

本校の新しい取り組みはまだ始まったばかりで、幾度もの試行錯誤を積み重ねながら作り上げていかなければなりません。生徒、保護者、教員、みんなが生涯学習者として学びを進めていきます。

生徒や保護者の皆さん、地域の方々、そして教育関係の方々のご協力を、どうぞよろしくお願い致します。



【高校説明会の様子】

## 保護者連絡会

### 第一学年保護者連絡会を終えて

第一学年主任 堂元 文

鏡川沿いの緑も日に日に濃くなってきて、夏の到来が感じられる季節となりました。高知国際高校では去る6月19日(土)の午後、本校で初めての保護者連絡会を行いました。遠方の保護者の方への配慮やコロナ禍であることも考慮し、校長挨拶をはじめ学年主任からの話、各分掌からの連絡はオンライン配信を試みました。その後のホーム懇談会は、オンライン配信はせずに各教室で行いました。当日の参加者は、来校された保護者が106名、オンライン参加は54名、合計160名でした。多くの方がそれぞれの形態で本連絡会に参加していただき、私どもも大変嬉しく身の引き締まる思いがいたしました。保護者の方々の感想からは、「子どもたちの普段の様子が分かってよかった、安心した」「修学旅行の詳しい内容が分かってよかった」「教科選択の仕方や進路について、親子で一緒に考えていきたい」「もう少し詳しい内容をききたい」「また、このような会を開いてほしい」などのコメントをいただきました。このような貴重な機会に学校と保護者が互いに意思疎通を図り、子どもたちのために協力してサポートしていくことを確認でき、本当に良かったと感じています。今後も、このような連絡会を開催したいと考えていますので、その時は是非参加くださるようよろしくお願いします。



【保護者連絡会のホームの様子】

グローバル科 DP コースを中心に、その探究の様子を紹介します。

今年度 1 期生は、DP コース 2 1 名でスタートしました。授業については探究コースと DP コースは分かれて行いますが、前期の間、授業内容は同じです。同じカリキュラムに沿って探究を進めていきます。もちろん、MYP の授業スタイルを継続し、自分の考えを発信したり議論し合ったりする場も設定されています。

**【国語の探究の様子】**

「様々な視点から読むことは、テキストの読みにどのような影響を与えるのか。」これは、とある Unit の探究テーマです。探究活動の中で、テキストに描かれた人物になりきり、その心情を動画で表現します。

まずはテキストを読み込み、グループに分かれて分析。分析中は活発な議論が繰り広げられています。設定された重要概念についての個々の価値観や考えが意見に反映されていました。動画制作には配役や台詞、撮影場所などを決めて各グループで取り組みます。動画を作成する中で、さらに登場人物同士の関係性が見えてきて、修正を重ねていました。その後、動画を鑑賞しながら探究テーマについて議論し合いました。



【登場人物の心情分析中】



【マイ PC を使って原稿作成】



【動画を作成中！】

**大学進学講座紹介**

大学進学講座が6月12日(土)から始まりました。1年生は3教科。普通科は全員対象、グローバル科は希望者が対象です。普段の授業は50分ですが、大学進学講座は1教科70分。朝のSHもなく、8時40分から開始です。6月で既に3回を終えましたが、そろそろ慣れているでしょうか? 模擬試験にも対応できるよう、長い時間も戦える知力と体力を養っていきましょう。

大学進学講座は授業を補完するものではありません。では、各教科の取り組みは・・・?

**国語**：古文・漢文を中心に読解力が身につくように、大学進学講座用の問題集に取り組んでいます。

**数学**：7月・11月・1月に行われる模擬試験の対策を中心に取り組んでいます。宿題はありませんが、講座だけでは足りない人のために添削指導もしています。

**英語**：精読を中心に文法事項や語彙の確認をしています。



【真剣に取り組んでいます。左から 国語・数学・英語の様子です】

## 部活動紹介

3つの部活動を紹介します。★まずは、高知西・高知国際高校ギター部。1年生は26名！

### ギター部

顧問 横田 哲

6月27日（日）に、1年生ライブを行いました。今年度はコロナ禍ということもあり、出演する1年生バンドと高知西高校2年生部員数名のみでのライブとなりました。

高校入学とともに新たに楽器を始めた生徒も多いのですが、緊張しながらも、観客の前で演奏することができました。次のライブステージは9月のあけぼの祭になります。

高知西高校2年生バンドも高知国際高校1年生バンドに負けまいと練習していますので、若いエネルギーが大いにぶつかり合う、熱いライブになること間違いなしです。



【1年生ライブの様子】

★続いて、高知国際高校サッカー部として単独チームで県体に出場したサッカー部。5月15日、5月17日の高知新聞にも大きく取り上げられました！

### サッカー部

今回は高知国際高校生のみで県体に出場させて頂きました。チームとしては1年目かつ1年生のみなので実力も経験も未熟でした。そんな中、同じ敷地内である高知西高校の先輩方から日常的に刺激を受け、質の高い環境で練習することができました。県体の結果としては、1回戦敗退と悔しい思いをしたものの、自分達の現状を理解し、課題が明確になったことなど、得たものの多い試合になりました。

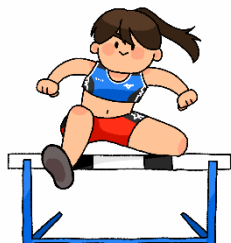


これからも感謝の気持ちを持ち、高知西高校の伝統を受け継ぎながら高知国際高校として新たな伝統をつくっていきます。

★最後に、高知西・高知国際高校陸上部。1年生も四国大会に出場しました！

### 陸上部（七種競技）

私が四国大会に出場して初めて気付かされた事は「一人ではできない」という事です。私は七種競技に出場しました。一つのレースを終えて陣地に戻ると、先輩方や同輩達がいっぱいマッサージをしてくれて、パワーをたくさんもらいました。そして、先生方もアップの時から見て下さり、競技中もたくさんアドバイスをしていただきました。皆さんのサポートのおかげで、ほとんどの種目において自己ベストを出すことができました。この感謝の気持ちを忘れず、次は私が皆さんのサポートをし、先生方には記録で恩返しをしていきたいです。



【一ロメモ】七種競技はその名の通り、七種の種目に参加します。100mハードル、200m、800m、砲丸投げ、やり投げ、走高跳び、走幅跳びが行われます。競技の記録の得点は、それぞれ計算式が定められており、それらを足した総合点を争います。七種競技は短距離～中距離、投てき、跳躍など陸上競技におけるすべての能力が必要とされます。

### 陸上部（投てき）

今回、私はハンマー投げで四国大会に出場することができました。四国大会では、あまり良い順位は出せなかったけど、その代わりに多くのことを学んだと思います。他県の選手たちは、体つきからして随分と違っていました。そして何より気持ちが違っていました。見ていて私でもわかるぐらい「勝ちたい」という気持ちが全面に出ていました。来年もまた、このような場所で戦えるように、もっと強くなるために練習に励みたいと思います。

## 陸上部（4×100メートルリレー）

僕は初めての四国大会だったので、自分で思っている以上に緊張したことが記憶に残っています。試合前のアップの時から、県外の競技場で走ったこともないし、独特の雰囲気があったので、みんなが速く見えて怖かったです。そんな中でも、第3走者だった僕の前後の先輩は個人でも四国大会に出場しているので頼もしく感じました。

結果は予選落ちでしたが、その場に立てたことや県内ではなかなか感じるのできないスピードを間近で感じられたことは、これから繋がる良い経験になったと思います。



### 生徒会執行部と校長との懇談

生徒指導部生徒会担当

令和3年6月29日（火）16:40～17:10に生徒会執行部9名と校長との懇談会をもちました。

本校にとっては初代生徒会執行部であり、また、これから本校の未来に向かって、新しい歴史の第一歩となる執行部です。

それぞれの意気込みや意見などを聞くことができ、有意義な時間となりました。懇談は、気軽な話、意気込み、企画案などの話や、個人的な願いも言えるような場であってもよいと思っています。

その話の中から、「あ、これいいね」、「これできそう」などが出てくると面白いと思います。今回も多くの楽しい意見がありました。例えば、「定期テストなどの試験内容を予測することをしてみたい」、「新しい学校で最初の流れをつくるのかかわりたかった」、「持っている力を誰かのために使いたい」、「国際高、国際中、西高3つの学校と一緒に活動することを考えたい」などがありました。とても前向きな明るい生徒会執行部です。今後ともよろしくお願いします。



生徒会執行部と校長とでポーズ！！

## 「コラレ」 学びは人生を豊かにする

校長 森本民之助

巷では、学びという言葉が当たり前のように多く使われるようになりました。ということは私たちの周辺には当たり前のように多くの学びがあるということなのでしょう。学びという言葉は、私が教職に就いた頃（昭和の終わり頃）はどちらかというと教育関係の言葉というイメージでした。しかし、今は生活の多くの場面に学びが存在するように思います。学びが人生を豊かにするのなら、より多くの学びの場面がある今は、より多くの人生が豊かになっているということです。豊かな人生を送ることに異を唱える人は少ないと思いますが、では、何が豊かな人生なのかと考えると、それは人それぞれに答えがあって一つではありません。

「学びは人生を豊かにする」ことについて、ずっと意識してきたことがあります。昭和の話なので既に昔話なのかもしれません。当時、勤務していた高校で聞いた話です。その地域で識字学級に通っていた方がいて、その方は子どものころ貧困などにより学校にいけませんでた。会話はできて字を知りませんので、読むことと書くことができません。その方が相当の年齢になって、識字学級に通い始め字を覚えます。何とかカナを覚え、病院の受付で初めて自分の名前を書いてみました。少し待つと自分の名前を呼ばれました。そのことは信じられないくらいうれしかった。そして、他にもそのような経験を重ねていくと見える世界がどんどん変わっていったようです。そして、こういうコメントを残します。夕焼けを見てもあまり美しいと思わなかったけれど字を覚えて本当に美しいと思えるようになった。

これは私にとって、「学びは人生を豊かにする」ということの底辺にある意識です。学びをやめないでください。そうすれば、人生を豊かにするものに出会えるはずだから。

高知県立高知国際中学校・高等学校  
〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号  
TEL : 088-844-1221 FAX: 088-844-4823  
URL : <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>  
Email: [kokusai-jh@kochinet.ed.jp](mailto:kokusai-jh@kochinet.ed.jp)

